バングラデシュ人民共和国政府との間の交換公文◎日本国産米の売買に関する契約に関連する日本国政府と

(略称)バングラデシュとの日本国産米の売買契約に 関連する取極

日			_			バ					
日本側書簡	3 協議	2 生産及び国際通商貿易を守るための措置	1 契約実施のための措置	同契約に関する了解事項	国内産米売買契約の概要	バングラデシュ側書簡	H 次				
		を守るための措置							H <i>77</i>	昭	977
							~-		昭和四十七年十一月 十 四 日	昭和四十七年 八 月二十九日	昭和四十七年 八 月二十九日
五四	五三	五二	五三	五二	五	<u>±</u>	ージ	(外務省告	告示	効力発生	東京で

バングラデシュとの日本国産米の売買契約に関連する取極

(日本国産米の売買に関する契約に関連する日本国政府と ングラデシュ人 民共和国 政 府との間 |の交換公文|

ングラデ シ _ 側 書 簡

(訳文)

契約」 約には、 グ В 八 するため日本の 、ラデシュ人民共和国政府との間 本国農 月二十五日に 書簡 和国政 (以 下 をも 从林省 府 なかんずく次の事項が定められています。 が う 食糧 7 バ 契約」とい 東 協 啓 ン 京に グラデシ Ŀ 庁との間 力を要請し お たします。 5 う。)に言及する光栄を有します。 で てバン 1人民 締結された たことに基づき、 の日本 グラデシ 共和国の 本使は、 k 食糧需 日本 <u>-7.</u> 産米の売買に バングラデシ 人民 K 千九百七十二年 給 「食糧庁とバ 共和国 事 情 に関する 『を緩和 ・ユ人 政府と 契

- (a) によつて、売り渡す。 七十二年十月末までに、 H 1本国 日本国産水稲りるち精米五万メト |農林省食糧 庁は、 バ 十 五 ン グラデ 日 間 シ 0)猶予 リッ ے۔ 人民 期 ク 間 共和国 • 付きで千 ンを、 政府に対 延払 九
- (b) による。 その米穀 0 引 渡 Ū は、 日 本国の港に お ける本船積込み

(c)

その米穀の

価格は、

本船積込み渡しにより、

一メトリック・

6

٢

ンにつき四万四千四百円とする。

・グラデシュとの日本国産米の売買契約に関連する取極

(Bangladesh Note)

Tokyo, August 29, 1972

Excellency,

meeting the food requirements in the People's of my Government for Japanese cooperation in referred to as "the Contract"), at the request inter alia, for the following: Republic of Bangladesh. on August 25, 1972, Ministry of Agriculture and Forestry of Japan public of Bangladesh and the Food Agency, between the Government of the People's Rethe People's Republic of Bangladesh" concluded Food Agency of Japan and the Government of Sale and Purchase of Japanese Rice between have the honour to refer to the "Contract in Tokyo (hereinafter The Contract provides,

- (a) The Food Agency, Ministry of Agriculture milled non-glutinous rice; thousand (50,000) metric tons of Japanese fifteen days allowance, a total of fifty gladesh by the end of October, 1972 with ment of the People's Republic of Bana deferred payment basis to the Governand Forestry of Japan shall supply on
- (d) The said rice shall be delivered on the basis of f.o.b. stowed at Japanese ports;
- The price of the said rice shall forty-four thousand four hundred (44,400)

バ

措置 のための 契約実施 解関事項 同契 可 の に 国際 通商 で 及び

> (d) シ バ 1 人民共和国 ング 、ラデシ 一の国内消 ・人民 共 費に使用しなければならない。 和 国政府は、 その 米穀をバングラ

- (e) 延払の条件は、 次のとおりとする。
- (i) 元 本 均等年賦によつて行なり。 の支払 がは、 + · 年の 据 置 期 間 0)後二 十年 の期間に わ た
- (ii) |期間の後 つ、 利 子率 その利子 は、 二十 据 は、 年 置 期 の 期 間 毎年支払う。 間 VC においては年三パ お 5 ては年二 パ 1 1 セ 七 ン <u>۲</u> ントとし 及び据
- (f) され、 庁への支払は日本円で行なわれる。 契約 かつ、 から生ずるすべての債務及び義務は バングラデシュ人民共 和 K 政 日 府 か 本国通貨で表示 ら日 本 国 食糧

関 7 |連する次の了 きわめて満足している旨を閣下に通報するとともに、 本使は、バ ングラデシュ人民共 解を本国 政 府 に代 わ 和 国 つて確 政府 認します。 が契約の締結 契 K 入約に いつい

1 とのため必 囲 内で、 両政 以府は、 契約 一要な措置をとる 0 それぞれ 円滑 な及び の国に 適 一時の おいて施行され 実施を容易にするものとし、 ている法令の範

2 龗 を与えることを避けるという原則 両政府は、 生産及び国際通商貿易の通 が、 契約 常 0 形態 による日 に有害な影 本 上国産

- f.o.b. stowed; yen per metric ton on the basis
- (b) (e) The terms and conditions of the deferred said rice for the domestic consumption of Bangladesh shall be bound to use the The Government of the People's Republic of the People's Republic of Bangladesh;
- payment shall be as follows:
- (i) The payment of the principal shall be made in equal annual instalments over a period of twenty years after ten years' grace period;
- (i i) The rate of interest shall be two such interest shall be paid annually years after the grace period, and per annum during the period of twenty grace period and three per cent (3%) per cent (2%) per annum during the
- (f)All liabilities and obligations accruing shall be made in Japanese yen. Bangladesh to the Food Agency of Japan Government of the People's Republic of Japanese yen and the payment from the from the Contract shall be quoted
- ment the following understanding relating to Contract and to confirm on behalf of my Governis highly satisfied with the conclusion of the Government of the People's Republic of Bangladesh I wish to inform Your Excellency that the Contract:
- 2. The two Governments recognize that the necessary measures to this end countries, facilitate smooth and timely regulations in force in their respective implementation of the Contract and take 1. The two Governments will, within laws
- principle to avoid harmful interference

行ないつつ、

遵守するためのすべての妥当な措置をとる。

前記の日本国産米の購入との関連でこの原則

を

日本国政府と必要な協議を

したがつて、バ

米の供給を規律すべきであることを認める。

グラデシュ人民共和国政府は、

あるいかなる問題についても、相互に協議する。 両政府は、との了解から又はそれに関連して生ずることが

きごし アナン 信星 りこしこ マー村 三の 協議する。

を貴国政府に代わつて確認されれば幸いであります。本使は、閣下が前記のことが日本国政府の了解でもあること

意を表します。 本使は、以上を申し進めるに際し、ここに閣下に向かつて敬

千九百七十二年八月二十九日に東京で

特命全権大使 ダール日本国駐在バングラデシュ人民共和国

日本国外務大臣 大平正芳閣下

with normal patterns of production and international commercial trade should govern the supply of Japanese rice under the Contract. The Government of the People's Republic of Bangladesh will, therefore, in due consultation with the

principle in connection with the purchase of the said Japanese rice.

3. The two Governments will consult with each other on any problems that may arise out of this understanding or in connection therewith.

measures for the observance of the said

Government of Japan, take all appropriate

I should be grateful if Your Excellency's would confirm, on behalf of Your Excellency's Government, that this is also the understanding of the Government of Japan.

I avail myself of this opportunity to extend to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

(Signed) Manoranjan Dhar

Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of the People's Republic of Bangladesh to Japan

His Excellency
Mr. Masayoshi Ohira,
Minister for Foreign Affairs
of Japan

(Japanese Note)

Tokyo, August 29, 1972

(訳文)

次の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。 書簡をもつて啓上いたします。本大臣は、 本日付けの閣下の

(バングラデシュ側書簡)

本国政府に代わつて確認する光栄を有します。 本大臣は、 前記のことが日本国政府の了解でもあることを日

本大臣は、以上を申し進めるに際し、ここに閣下に向かつて

敬意を表します。

千九百七十二年八月二十九日に東京で

外務大臣に代わつて

アジア局長 吉田健三

日本国駐在バングラデシュ人民共和国 特命全権大使 マノランジャン・ダール閣下

(日本側書簡)

Excellency, I have the honour to acknowledge the

date, which reads as follows: receipt of Your Excellency's Note of today's

understanding of the Government of Japan. my Government that the foregoing is also the I have the honour to confirm on behalf of "(Bangladesh Note)"

highest consideration. extend to Your Excellency the assurance of my

I avail myself of this opportunity to

For the Minister for Foreign Affairs

(Signed) Kenzo Yoshida

the Asian Affairs Bureau Director-General of

His Excellency Mr. Manoranjan Dhar, Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of the People's Republic of Bangladesh to Japan

の国内法令の範囲内で、この契約の円滑かつ適時の実施を確保すべく必要な措置をとることを約した成立に伴い、外交レヴェルにおいても重ねて契約履行の保証を取り付けるため、両国政府がそれぞれこの取極は、わが方食糧庁とバングラデシュ人民共和国政府との間における国内産米の売買契約の ものである。